

=地域防災はつながりから!!=

映画上映★実践報告と ディスカッションのつどい

当日は
手話通訳・

要約筆記を
ご用意します

あの3.11以降、全国各地での防災の取り組みは一層真剣に、そして一層の広がりをもって進められています。しかし一方、東日本大震災での障がい者の死亡率が住民全体の2倍以上であったという厳しい現実もわかってきました。

障がいのある方々はじめ、いざというときに援助を必要とする人たちをも視野に入れた地域防災の土台は何と言っても平常時からのつながりです!

このつどいは北区で進められている様々な立場からの取り組みを共有し、ディスカッションしていくことで今後の活動のヒントやエネルギーを持ち帰っていただこうとの趣旨で開催します。

どうぞ皆様ぜひご参加ください。

日 時

平成26年2月1日(土) 午後1時~3時30分 (開場 午後0時30分)

会 場

北区役所 講堂 (名古屋市北区清水4-17-1)

定 員

150名 (申し込み不要、当日先着順)

内 容

ドキュメンタリー映画上映 (字幕・手話通訳付)

「生命(いのち)のことづけ

~死亡率2倍 障害のある人たちの3.11~」(裏面参照)

実践報告とディスカッション

〈報告者〉

川中学区区政協力委員長

神野 英之 氏

めいほく鳩岡の家 職員

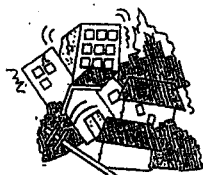
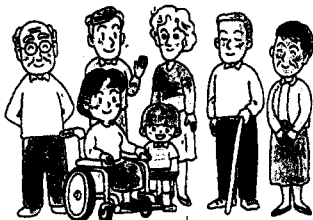
佐藤 悦弘 氏

金城学区在住視覚障がい当事者

橋本 敦子 氏

防災地域づくり部会 運営委員

★会場の皆さまからの発言・報告もぜひどうぞ!



主 催: 北区障害者地域自立支援協議会 防災地域づくり部会

共 催: 北区役所 / 名古屋市北区社会福祉協議会

問合せ: 名古屋市北区社会福祉協議会

(電話: 915-7435 / Fax: 915-2640)

*会場へはできるだけ公共交通機関でお越しください。

「生命(いのち)のことづけ～死亡率2倍 障害のある人たちの3.11～」

特設サイト より

障害者の死亡率 2倍

ナビゲーターにも
なったのか



監督 早瀬憲太郎(「ゆずり葉」監督)

制作 日本障害フォーラム(JDF)、日本財団

製作 特定非営利活動法人CS障害者放送統一機構 目で聴くテレビ

障害のある人の生死を分けたものは何か。

どうすれば人間としての尊厳を失わずに生きのびることができるのか。

～東日本大震災による障害者の死亡率は、住民全体の死亡率の2倍以上(自治体、報道機関の発表データによる)～

東日本大震災で被災した盲ろう者の早坂洋子さんをナビゲーターとしてこの映画は進行する。

津波で命を失った人たち・・・ 家族や仲間たちが語る証言。

そして、ようやく逃げ延びた人たちを待っていた、過酷な現実・・・ 避難所で「出ていけ」と罵声を浴びせられた精神障害のある人たち。床に寝ることができず16日間車いすに座り続けるしかなかった女性。避難指示区域に5日間取り残された全盲の女性・・・

そうした中、さまざまな障害者団体や支援団体が、自治体からの協力を得ながら、支援の取り組みを開始する。福島県南相馬市と岩手県陸前高田市では、個人情報の開示を受け、障害者の訪問調査が実現する。

新たな大災害の可能性が指摘される中、震災を経験した当事者、関係者の姿を通じて、今後の復興と地域づくりに向けたあり方を探る。

☆ ☆ ☆

北区障害者地域自立支援協議会とは…

平成18年4月に施行された障害者自立支援法の施行規則に「地域における障害福祉に関する関係者による連携及び支援の体制に関する協議を行うための会議を設置する。」とあり、相談支援事業のひとつとして市町村ごと(政令指定都市については区ごと)に設置します。名古屋市では北区を含めて16区すべてに設置され運営は各区に任されています。

防災地域づくり部会とは…

防災と災害時要援護者の視点を切り口に、誰もが安心して暮らしていける地域づくりをどのように進めていけばよいか?をテーマとし、実践もまじえながら検討していこうという部会です。